

平成 25 年 8 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 25 年 8 月 21 日（水）午後 2 時 40 分～午後 4 時 30 分

2. 場 所 市立公民館・中央地区公民館 3 階 講座室 4

3. 出席者

委員長 中野 俊勝 委員長職務代理者 川岸 靖代 委員 坂田 忠義
委員 谷口 馨 教育長 永本 定芳

4. 事務局出席者

教育総務部長	板東 正人	学校教育部長	小池 俊一
生涯学習部長	植原 和彦	理事兼学校管理課長	門林 啓之介
総務課長	藤原 芳治	産業高校学務課長	直 清司
学校教育課長	寺田 博	人権教育課長	篠本 治久
生涯学習課長	佐藤 正	スポーツ振興課長	元廣 秀晴
郷土文化室長	南 美恵子	図書館長	森 正之
総務課参事	大西 謙次	総務課参事	中野 忠一

開会 午後 2 時 40 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に坂田委員を指名した。

傍聴人 0 名。

○中野委員長

ただいまから、8 月定例教育委員会会議を開催します。

報告第 40 号 平成 24 年度生徒指導状況のまとめについて

○中野委員長

報告第 40 号 平成 24 年度生徒指導状況のまとめについて、事務局より説明をお願いします。

○寺田学校教育課長

本件は、各学校における生徒指導状況を集約し、本市における問題行動の動向を捉え、今後の指導に役立てるための資料でございます。小学校、中学校別に暴力行為・不良行為等の問題行動、いじめの認知件数、不登校の件数についてまとめたものでございます。問題行動等の低年齢化が進み、また中学校においては遊び非行型等の心因性以外による不登校が増えてきております。いじめ認知件数も増加しておりますが、これは昨年度の事例を踏まえ、各学校がよりきめ細かく子どもたちの観察を行っているものであると考えます。現在、少年非行防止教室や教育相談室、ス

クールカウンセラー等の関係機関と連携をとりながら組織での対応に努めているところです。

○谷口委員

不良行為等について種別ごとに人数が記載されていますが、同じ子どもが複数の問題行動を行っている場合もあるのでしょうか。

○寺田学校教育課長

人数については、延べ人数を記載しており、複数の問題行動を行っている児童・生徒もいます。

○谷口委員

問題行動の中で喫煙についてですが、減少傾向にはありますが、まだまだ数が多いわけですが、以前の保健所の調査で、喫煙のきっかけが本市の場合、祭礼時という結果がありましたので関係機関の協力も求めながら防止に努めていただきたいと思います。

○寺田学校教育課長

各種祭礼団体においては、飲酒や喫煙など子どもたちに悪い影響を及ぼすことのないよう集会等で注意していただいております。学校においても祭礼前には児童生徒に注意喚起するとともに、保護者に対してもプリントの配布等をお願いしております。

○坂田委員

遊び歩行型などの心因性以外による不登校が増えていることについて、どのように考えられていますか。

○寺田学校教育課長

まずは、学校に登校させることが大事でありますので、教育相談室やスクールカウンセラーなど関係機関と連携を図りながら、担任の先生による家庭訪問、生徒指導担当の先生による保護者を交えての話し合いなどの対応に努めております。

○坂田委員

この問題は、まず家庭の協力が不可欠であるので、家庭へのアプローチをしっかりと行っていただきたい。

○川岸委員

ゲーム機や携帯端末の普及に伴い、ゲームなどに夢中になり学校に行かず家に引きこもっている児童・生徒もいるのかなと思いますが、そのような子どもたちは心因性による不登校に区別されているのですか。

○寺田学校教育課長

心因性の不登校については、友達と関わりにくいであるとか、学校に足が向きにくいという心理的な問題を抱えている子どもたちのことで、この児童・生徒達に対しても、担任の先生が家での様子について連絡を取り合い、家庭での課題を与えるなどの対応に取り組んでいます。

○中野委員長

子どもを取り巻く環境において様々な危険な誘惑がありますが、最近はシンナー吸引という問題行動は非常に少なくなっているようです。これは、塗装業界が有機溶剤を使用せず水溶性の塗料を多く使うようになったためであると聞きました。一方で、脱法ドラッグなるものが中学生に

影が及んでいるという話も聞きます。このような厳しい状況のなか、なんとかして子どもたちを守っていかなければならないと思っています。また、不登校の問題については、最近「ソーシャル・ボンド」これは、子どもたちが何らかの社会との繋がりを形成することが大事であるというキーワードを耳にしました。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールサポーターなど、あらゆる力を活用して指導していくこと、また、すでに取組みの進んでいる小・中連携についても更に深めていくことが大事であると考えます。

報告第 41 号 平成 25 年度岸和田市水練学校のまとめについて

○中野委員長

報告第 41 号 平成 25 年度岸和田市水練学校のまとめについて、事務局より説明をお願いします。

○寺田学校教育課長

今年度の岸和田市水練学校は、7 月 23 日から 8 月 2 日までの土曜日・日曜日を除く 9 日間で実施し、市内小学校 5・6 年生の希望者 526 名が参加しました。一日平均出席児童数は 450 人でクロール 25m 以上を泳げた中級以上の進級生徒の割合は 89.1%、平泳ぎ 100m 以上を泳げた上級以上の進級生徒の割合は 52.2%と、いずれも昨年度の実績を上回ることができました。これは、指導員の熱心な指導と子どもたちの頑張りによることはもちろんですが、今年度の日程をすべて平日開催したことも一因であると考えています。次年度の課題といたしましては、参加児童の増加に伴いまして指導員一人当たりの児童数（今年度 12.7 人、昨年度 10.3 人）が増えてきていることから、指導員の確保に努めてまいりたいと考えております。

○川岸委員

今年度は、土曜日・日曜日の開催がなかったので参加させやすかったという声を聞きましたので、次年度以降もこのような日程がいいように思います。

報告第 42 号 第 2 次岸和田市生涯学習計画の進捗状況等について

○中野委員長

報告第 42 号 第 2 次岸和田市生涯学習計画の進捗状況等について、事務局より説明をお願いします。

○佐藤生涯学習課長

本件は、各課が取り組んでいる生涯学習関連事業の実施状況についてまとめたものです。平成 24 年度の進捗状況ですが、143 事業のうち、担当課の自己評価は、評価 S（計画以上）が 3 事業、評価 A（計画どおり）が 132 事業、評価 B（計画以下）が 8 事業でした。平成 25 年度実施計画については、新規事業はなく、2 事業を廃止し、2 事業を 1 事業にまとめ、140 事業を実施いたします。生涯学習の推進体制については、市長を委員長とし副市長、教育長、各部長等で構成されている生涯学習推進委員会と社会教育団体、その他市民団体、学識経験者等で構成されている生涯学習推進本部が両輪となり、公民協働で事業の推進に努めております。

○中野委員長

30 課において実施されている 143 事業については、内容が充実しており、その内容の改善のために自己評価をされているというのは、素晴らしい取り組みであり感心しています。評価結果については、計画以上の S 評価が 3 事業、計画どおりの A 評価が 132 事業ということですが、昨年度に引き続き S 評価となっているのが I 事業だけなので、評価基準が少し厳しいのではないかと思います。

○佐藤生涯学習課長

評価については、各担当課で行っており、数値で評価できるもの、できないものがあり、評価が難しいものも多数あります。各担当課には再度、評価基準について周知徹底を図ってまいります。

○坂田委員

評価基準については数値だけでなく、事業内容について幅広い視点での評価が大事であると思います。それと気になったのが、生涯学習課の女性学級についてですが、昭和 31 年に婦人学級としてスタートした事業だと思いますが、女性学級という名称が今の時代に馴染まなくなっているのではないかと感じました。今までは女性の自立について考えることが大事であったので進められてきたわけですが、スタートしてから長い年月が経ち、まだそのことが解消されていないのかというふうに感じます。

○佐藤生涯学習課長

現在どのようなことが議論されているのか、関係各課と情報交換してまいります。

報告第 43 号 第 67 回大阪府総合体育大会、泉南地区大会成績及び中央大会出場について

報告第 44 号 第 26 回濱田青陵賞授賞式及び記念シンポジウムの開催について

○中野委員長

報告第 43 号及び報告第 44 号については、書面での報告です。ご質問、ご意見等ございませんか。

○南郷土文化室長

考古学などの優れた研究者に贈られる濱田青陵賞の授賞式と記念シンポジウムを、9 月 21 日午後 1 時から岸和田市立文化会館（マドカホール）で開催します。今回の受賞者は、木簡の研究の第一人者である大阪大学大学院文学研究科准教授の市 大樹（いち ひろき）様で、記念シンポジウムのタイトルは「解き明かされる国家の原像」です。この催しの周知方法については、広報きしわだ 9 月号、岸和田市ホームページ、朝日新聞に掲載します。

報告第 45 号 岸和田城天守閣次期展示について

○中野委員長

報告第 45 号 岸和田城天守閣次期展示について、事務局より説明をお願いします。

○南郷土文化室長

9月4日から12月1日まで、岸和田城天守閣2階展示室において、企画展「新島八重と岸和田」を開催いたします。内容は、今NHK大河ドラマで話題の新島八重と岸和田の関わりやその背景、その後の歴史への影響等について、旧岸和田藩士山岡家の資料を中心に紹介します。本日ラジオ岸和田で郷土文化室の職員が、番組内で新島八重と岸和田というテーマで対談しております。

○中野委員長

NHK大河ドラマなどでは毎回、関係のある史跡などが紹介されているのを見ますが、新聞社やマスコミなど積極的に情報発信しPRすればいいと思います。

報告第46号 蔵書点検による図書館の休館について

○中野委員長

報告第46号 蔵書点検による図書館の休館については、書面での報告です。ご質問、ご意見等ございませんか。

○森図書館長

本件は、蔵書点検のため、本館は10月14日から10月24日まで、旭・山直・春木分館については10月2日から10月7日まで休館とすることの報告です。

○中野委員長

報告は以上です。次に議案の審議に移ります。

議案第44号 岸和田市教育委員会の点検・評価報告書について

○中野委員長

議案第44号 岸和田市教育委員会の点検・評価報告書について、事務局より説明をお願いします。

○藤原総務課長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定により、教育に関する事務の管理、執行の状況について、点検及び評価の結果に関する報告書(案)を別冊のとおりまとめておりますのでご審議いただきたいと思います。承認されましたら第3回定例市議会で報告し、市民へ公表してまいります。

報告書(案)ですが、平成24年度に実施した、主な施策・事業21事業について、教育委員会事務局自らが行った点検・評価と教育委員会会議の実施状況、教育委員の主な活動状況をそれぞれシートにまとめ、その点検・評価に対して学識経験を有する評価委員の方々から意見を頂き、その意見に対する教育委員会の考え方などを掲載しております。

○中野委員長

項目番号1の学力向上支援事業・読書活動事業についてですが、特に学力向上については、本市の重要な課題の1つであると考えます。先日ある小学校を訪問した際に、6限目に4年生から6年生に学びタイムということで、算数のプリント学習であるとか、漢字検定学習、辞書引き学習を実施していました。このような取組みの結果、素晴らしい効果が上がっていることを知り、

このような取組みを市全体に広げていただきたいと思います。読書活動については、第2次岸和田市子ども読書活動推進計画（素案）も策定されていることですし、点検評価シートの課題にもあります図書館コーディネータの拡充に努めていただきたいと思います。

○谷口委員

項目番号3番の産業高等学校における専門教育の充実については、少ない予算で取り組んでおられますが、取り組み内容について具体的に教えてください。

○直産業高校学務課長

この事業は、岸和田市産業教育審議会の答申を受け、本校における学校教育計画を定め、本校なりの特色をいかし、地域の方々から信頼される、また支持される学校を作っていくための取り組みです。具体的には、就職を重視した学校から就職・進学両面にわたる取り組みを行っていくことです。

○中野委員長

点検評価シートの取り組み後の効果に記載されていますように、各種検定合格者数については素晴らしい結果が記載されており、今後も更なる合格者の増加に向けて頑張ってもらいたいと思っております。シートに記載されている今年度の取り組み状況について、もう少し具体的な取り組み内容を記載していただいたほうが良いと思われました。

○坂田委員

項目番号12の公民館・青少年会館等の管理運営について、講座数が増えているが、クラブ数増加につながっていないということは、クラブのメンバーが固定化されてしまって、新しいメンバーが入りにくい状況になっているのではないかと感じました。また施設の都合もあり新しくクラブを作りにくいのかなと感じました。そのあたりの点検も今後行ってみたいと思います。

○佐藤生涯学習課長

クラブ連絡会などで意見交換し、現状の把握と今後の対応を考えてまいります。

○中野委員長

項目番号6の自ら進路を選択・決定する力の育成に関して、中学生の職場体験学習については、訪問先の確保や、日程調整などにご苦労があると思いますが、これらの調整などは中学校区単位で行っているのですか。

○篠本人権教育課長

基本的には、学校が主体となって行っていますが、訪問先等については事務局から情報提供も行っていますし、事務局が訪問先と直接調整をする場合もあります。訪問日数については2日間としていますが、もう少し多いほうが良いのではないかと意見もあります。

○川岸委員長職務代理者

訪問先では、学校における生徒の様子とは違う一面が見られるというお話も聞きますので、保護者の方々が、その様子を参観できるような機会があってもいいのではないかと感じました。

○中野委員長

他にないようですので、原案のとおり承認いたします。

議案第 45 号 補正予算について (学校管理課 継続費補正 債務負担行為補正)

○中野委員長

議案第 45 号 補正予算 (学校管理課 継続費補正 債務負担行為補正) について、事務局より説明をお願いします。

○門林学校管理課長

本件は第 3 回定例会市議会において、八木小学校及び産業高等学校の耐震化工事を今年度と来年度の 2 カ年で実施したいため継続費の補正を、また来年度から再来年度に予定している、中央小学校改築工事、山直北小学校の耐震補強工事・給食室増改築工事に係る設計業務委託料の債務負担行為補正を計上し、加えて、中学校給食センター建設に関して、建設場所を阪南 2 区から丘陵地区内に変更したため、阪南 2 区での建設に関する継続費予算を廃止し、新たに丘陵地区での建設に関して、今年度から平成 27 年度までの 3 カ年の継続費予算を計上したいものです。

○中野委員長

特にないようですので、原案の通り承認いたします。

議案第 46 号 補正予算について (学校教育課 事業費補正)

○中野委員長

議案第 46 号 補正予算 (学校教育課 事業費補正) について、事務局より説明をお願いします。

○寺田学校教育課長

本件は第 3 回定例会市議会において、小中学校エネルギー理解教育推進事業に関する補正予算を計上するものです。事業内容は、小中学校の理科におけるエネルギー教育の実験器具 (放射線測定機・LED 蛍光灯と白熱球の比較実験機・手回し発電機など) を購入・配付し、環境教育の取組みを推進することにより、エネルギーや原子力について理解を深め、自ら考え、判断する力を身に付けるものです。事業費については、大阪府から全額補助されます。

○坂田委員

この事業は、大阪府独自の事業ですか。

○寺田学校教育課長

国の予算を大阪府が受け、事業実施市町村に再配分するものです。

○中野委員長

他にないようですので、原案のとおり承認いたします。

議案第 47 号 教職員人事について

○中野委員長

議案第 47 号は、人事案件につき非公開が適切と考えるがいかかですか。

(各委員の同意)

○中野委員長

非公開への賛同がありましたので、議案第 47 号 教職員人事については、非公開とします。
関係者以外は退席願います。

(関係者以外退席後、教職員人事について、審議され承認される。)

○中野委員長

これをもちまして、8月の定例教育委員会は閉会とさせていただきます。

閉会 午後4時30分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員